

## 「福岡の書店員が選んだ 激オシ文庫フェア」募集開始 今年のテーマは“もっと怒りを！”

各位 酷暑の日々が続きます。地元の書店・出版社などの有志で開催しておりますブックオカは、皆さまのおかげで今年で16年目を迎えました。新型コロナ禍はいまだ収束せず、客足も戻りきらない中、書店現場の疲労もたまっていることと拝察します。さて、私どもブックオカ実行委員会としましては、昨年同様、縮小した規模ではありますが、恒例の青空古本市や「激オシ文庫フェア」は開催したく準備を進めております。毎年設定しております選書テーマについて実行委員・書店有志と議論を重ねた結果、「もっと怒りを！～あなたのモヤモヤを晴らす一冊～」としました。制約を強いられる人々の日々の鬱憤や、溜まりに溜まった“怒り”を晴らしてくれる本、または怒りを笑いに昇華させてくれる一冊など、自由な解釈で選書してみてください。貴店スタッフに広くお声掛けいただき、ふるってご参加いただければ幸いです。選書いただいたタイトルはメール本文に添付したリンクへの入力にて送信くださいますようお願い申し上げます。

ブックオカ実行委員長 大井 実(ブックスキューブリック店主)

### 【1. フェア期間】

2021年10月25日(月)～11月20日(土)

### 【2. 開催要項】

- ①今年の統一テーマ： 「もっと怒りを！～あなたのモヤモヤを晴らす一冊～」
- ②今年も例年どおり共通のセットではなく、各店単位で候補作の中から自由に選書し展開していただきます。(推薦された書目は推薦文と共に9/20ごろにリスト=excelを送信いたします)
- ③発注(補充)は各店独自で行ってください。展開するアイテム／冊数も自由です。
- ④推薦文入りのオビはA4サイズのPDFデータを実行委員会で作成しHP(<http://www.bookuoka.com>)にアップします。参加各店でダウンロード・プリントをして展開してください。看板のデータもアップします。

### 【3. 選書のヒント】

- 小説、ノンフィクション、自伝・評伝などジャンルは不問です。(ただし文庫本に限る)
- みなさんが読んだ文庫作品の中で、「怒り」や「モヤモヤ」を晴らしてくれそうな本を推薦して下さい。以下、選書の参考までにメンバー間で挙がった作品です。

『村に火をつけ、白痴になれ』栗原康(岩波)／『長距離走者の孤独』シリトー(新潮)  
『ユニクロ潜入一年』横田増生(文春)／『怒りの葡萄』スタインベック(新潮)  
『ムカエマの世界』みうらじゅん(角川)／『ブルースだってただの唄』藤本和子(ちくま)  
『コンビニ人間』村田沙耶香(文春)／『黙殺』畠山理仁(集英社)／『石原吉郎詩文集』(講談社)

### 【4. 参加方法／推薦時の注意事項(推薦文締切=9/5)】

- ①最大50文字でオビ用の推薦文を書き、入力フォーム(<https://docs.google.com/forms/d/1yxEwAYYsQOaSnBiFZ8BZx7q9so5RqmdKMWhhbempmr4/>)に入力。右下QRコードを読み込んで頂いても構いません。入力フォームへの入力が難しい方はご連絡ください。
- ②絶版、品切れに注意してください。できるだけS、Aランク等の「ベタ」なものを避けてください。
- ③左綴じ=横書きの本は帯が逆になるので、必ず確認してください。フォームにも入力欄があります。
- ④推薦者は各書店何人でもOKです。推薦した店舗はフェアへの参加もお願いします。
- ⑤推薦文の締切は9月5日(日)です。



▶入力フォーム

### 【5. 送信先・問い合わせ】

[bookuokagekioshi@yahoo.co.jp](mailto:bookuokagekioshi@yahoo.co.jp)

ブックオカ実行委員会 福川キャサリン